

- 【題材名】 小学校第3学年 外国語活動
「ALPHABET. アルファベットとなかよし。」(Let's Try1 Unit6)」
- 【内 容】 ロイロノートを使用してアルファベットの形に着目してグループ分けをする。
- 【使用アプリ】 ロイロノート
- 【事例紹介】 パソコンでのアルファベット入力が未履修の3年生が、アルファベットの大文字のカードをロイロノート上で移動し、グループ分けすることによって、文字の形の特徴に注目しながらアルファベットに慣れ親しむ。

【大型提示装置に投影し説明。グループ分けができれば、提出箱に各自提出】

児童の考えた
グループ分け

【解 説】 小学校3年生は、パソコンでの文字入力を学習していない段階であり、ほとんどの児童は文字入力できません。そのような中、アルファベットのカード（大文字）を「直線だけでできている文字」と「まるいところがある文字」等のように、その形の特徴に注目しながら分類することによって、アルファベットに慣れ親しむことを目的とした活動です。分類するテーマは少しずつ変え、最後は自分で分類のテーマを決めるようになっています。

この活動は、Let's Try1 Unit6にある活動ですが、テキストの方は自分でアルファベットを書く必要があるため、カードを選ぶだけのほうが難易度を下げることができます。本学級は、正しい形でアルファベットを書くことが苦手な児童が見受けられたため、ロイロノートを使ったこの方法の方が児童に合っていると考え取り組みました。書く抵抗を取り除くことにより、児童は楽しみながら学習活動に取り組むことができました。

(教育委員会主幹講評) Let's Try1 Unit6の目標は、「大文字と読み方に慣れ親しむこと」第3時には、「文字の形などに着目して仲間分けを行い、文字への認識を深める」となっています。アルファベットを書くのに慣れていない児童にとっては、カードを使って仲間分けを行います。この事例のようにロイロノートを使えば、教師が提示したグループ分けを行った後、児童自身が考えたグループ分けを行い、共有も簡単にできます。よりアルファベットに慣れ親しむことのできる活動だと思えます。